

入 試 年度	2026 年度	入試時期	I 期入学試験	実施日	2025 年 9 月 17 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	史学専攻 アジア 史専修
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答例（採点時の観点）】 大問Ⅰ アジア史の基礎的知識となる歴史用語を、特定の地域に偏らずに理解できているかどうか判定します。 大問Ⅰの回答例（一部） A 群 『四庫全書』を選択した場合「清で編纂された漢籍の叢書である。乾隆帝の命令によって 1782 年に刊行された。編纂に当たっては経史子集の四部に分類する方式がとられた。編纂の目的には、禁書の調査という思想統制の側面もあった。」 B 群 マラッカ（ムラカ）王国を選択した場合「14 世紀末にマレー人によってマレー半島南西岸に建国された。インド洋のムスリム商人と東シナ海、南シナ海の華人商人を結びつける東西貿易の中心として繁栄した。1511 年にポルトガルに占領された。」 C 群 ガザン＝ハンを選択した場合「イル＝ハン国の第七代君主である。イスラム教に改宗し、ラシード＝アッディーンを宰相として登用し、『集史』の編纂を命じた。」 大問Ⅱ アジア史を研究する上で必要な文章の読解能力が十分であるかどうか判定します。いずれの文章を選択しても、内容を正確に把握し、平易な日本語訳または自然な書き下し文になっているかどうかを評価します。 【出題の意図】 大問Ⅰ アジア史を研究する上で必須となる基礎的な歴史用語を、知識として十分に身に着けているかどうかを問うために出題しています。 大問Ⅱ アジア史を研究する上では、テーマによって漢文史料の読解、または英語文献の読解のどちらかが必要になります。比較的初歩的な文章を出題し、読解能力が十分かどうかを問うために出題しています。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。 合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					